

木々に縁取られたダイナミックな峡谷

秋保町湯元地区にある峡谷。名取川による浸食が生み出した峡谷で、「八間巖(はちけんいわ)」「時雨滝(しぐれたき)」「天斧巖(てんおのいわ)」などと名付けられた大岩や滝が連なります。峡谷沿いに設けられた約700mの自然歩道を歩けば、迫力ある岩々をベストスポットで眺めることができます。温泉街の入口

にある「覗橋(のぞきばし)」もおすすめです。深さ約20mにも達する峡谷美を気軽に眺められるのはもちろん、恋人の聖地に認定された「覗橋♡ハート」を見つめることもできます。新緑や紅葉の時期はライトアップが行われることもあり、多くの人で賑わいます。



▲迫力ある岩々が連なる(撮影:庄子源六)



▲紅葉の時期



▶新緑の時期

ひとことメモ

「磊」とは石がごろごろしているさまを表した漢字。昭和6年に夏目漱石の門下人で東北大学名誉教授の小宮豊隆氏により「磊々峡」と命名されました。

アクセスガイド

仙台駅西口バスプール8番のりばより宮城交通バス「秋保温泉郷」乗車、「のぞき橋」下車すぐ

- 所在地：太白区秋保町湯元
- TEL：秋保温泉郷観光案内所/
022-398-2323

太白区マップC



磊々峡 蟬声上下左右より
磊々峡の磐石を噛む春の川
星節子 石垣弘子